

1 熊本平和祈念之碑



基本情報

所 在：白川右岸緑地
 住 所：熊本県熊本市中央区水道町500-3
 (JR熊本駅より 熊本市電「水道町」電停 徒歩5分)
 建 立 者：ライオンズクラブ国際協会
 建 立 年：昭和55年4月27日
 連 絡 先：熊本菊南ライオンズクラブ 096-273-6525

碑 文

【表】

熊本市は昭和十九年十一月二十一日以来数回の空襲を受けた なかでも昭和二十年七月一日夜から二日未明にかけての B29による焼夷弾攻撃 八月十日等の空襲のため 水前寺 大江 本荘 春竹 本山 蓮台寺 八島方面 新市街 下通 水道町 安巳橋 千反畑 草葉町 坪井 黒髪町方面等 市内の約三分の一が消失 この間の罹災官公庁学校は 県庁 県会議事堂 県立図書館 財務局 税務署 専売局煙草工場 熊本郵便局 熊本幼稚園 白川 黒髪 壺川 池田 本荘 日吉 熊本の各国民学校 済々黉 熊本中学 市立 大江 家政高女 熊本工業 市立商工 菓専 熊本医大等 罹災家屋約一万一千戸 罹災者数四万三千人 死者469人 負傷者552人という筆舌につくせぬ悲惨な被害を受けた

世界の平和と全人類の幸福に奉仕することを目的とするライオンズクラブは ライオンズクラブ国際協力国際児童年間に当り その概要を記し 被害者の霊を弔い 再び戦争をくりかえさぬよう祈念するため この碑を建立するものである

1980年4月27日 ライオンズ国際協会337-D地区年次大会

【裏】

熊本平和祈念之碑

碑 文

ライオンズクラブ国際協会
 337-D地区ガバナー 村上望城

ホストクラブ

- 熊本ライオンズクラブ
- 熊本中央ライオンズクラブ
- 熊本第一ライオンズクラブ
- 熊本マグナライオンズクラブ
- 熊本キャッスルライオンズクラブ
- 熊本りんどうライオンズクラブ
- 熊本火の国ライオンズクラブ



2 熊本平和祈念碑慰霊祭



開催概要 (平成25年度)

歳事名：熊本平和祈念碑慰霊祭
 会場：白川右岸緑地内 熊本平和祈念の碑前
 住所：熊本県熊本市中央区水道町500-3
 (JR熊本駅より 熊本市電「水道町」電停 徒歩5分)
 日時：平成25年7月1日(月) ※例年7月1日開催
 参列者数：100人
 連絡先：熊本菊南ライオンズクラブ 096-273-6525

式次第 (平成25年度)

1. 開会のことば…熊本菊南ライオンズクラブ幹事
2. 黙 禱
3. 挨拶…熊本菊南ライオンズクラブ会長
4. 慰霊のことば…平和憲法を生かす会 会員・元教諭
5. 献 花…肥後熊友ライオンズクラブ
6. 閉式のことば…熊本菊南ライオンズクラブ幹事

挨拶 (平成25年度)

本日はご参集、ありがとうございます。

7月1日の、この慰霊祭に慰霊碑建立以来、毎年欠かさずご参加の柏田さん、国米さんには頭が下がる思いです。また、古沢先生には、体験者として、証人として語りべとして我が郷土・熊本のB29による空襲のすさまじき光景をお話しいただいております。

7月1日と8月10日のB-29、364機による空爆によって、熊本市街地の1/3が焦土化し、被災家屋は1万戸、死者は469人、被災者4万人以上と伝えられています。

大惨事から68年目を迎える今、日本を取り巻く内外環境は、中では憲法9条改正の声が堂々とまかり通る世相となり、外では中国の軍備増強など戦前の形相と似たような情勢になりつつあるように思います。

歴史は繰り返されるのであろうか・・・

いいえ、絶対に繰り返してはならない。だから、今こそ戦争のむごたらしさを経験された方々の実体験に耳を傾け追体験者となって、自分の子ども、孫に悲劇を繰り返さないために、語り伝えるべきであろうと思います。

熊本菊南ライオンズクラブ
 会長 辻 重男

3 慰霊塔



基本情報

所 在：四ツ山公園
 住 所：熊本県荒尾市大島字笹原910-2
 (JR荒尾駅 徒歩20分)
 建 立 者：荒尾市長 古閑幹士
 建 立 年：昭和38年9月29日
 連 絡 先：荒尾市 福祉部 福祉課 0968-63-1406 (直通)

碑 文

【表】

慰霊塔

説 明 文

慰霊塔建設記念碑

古来 平和の為の戦いと呼号し 幾多の民衆の血を流した戦争の歴史は詮は 征服と屈従のあさましき人間の生きる姿ではなかつたか。国の上に国なく人の上に人なく 支配と隷従に関りなき忝こそ 人間の求むる真実である 日本は過去一世紀に四たび戦い 吾界第二次大戦に敗れたが この長い 苛烈な戦いの後には吾界に四十数国の 獨立と民族の解放を齎した それは 私達の指向する人の忝への前進と言へる 過ぎし悲惨な戦いの犠牲は思い起すだに涙を誘うも後忝に残した功は高い ここに荒尾市約二千柱の戦没者の御霊を祀る

昭和三十八年九月二十九日
 荒尾市長 古閑幹士

4 荒尾市戦没者追悼式



※写真提供 荒尾市

開催概要 (平成25年度)

歳事名：荒尾市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：荒尾総合文化センター
 住所：熊本県荒尾市荒尾4186-19
 (JR荒尾駅より 産交バス「文化センター前」下車 徒歩1分)
 日時：平成25年10月24日(木) ※例年10月第4木曜日開催
 参加者数：150人
 連絡先：荒尾市 保健福祉部 福祉課 総務係 0968-63-1406 (直通)

式次第 (平成25年度)

1. 開式のことば…荒尾市副市長
2. 国家斉唱
3. 祭主式辞…荒尾市長
4. 黙 禱
5. 追悼のことば…荒尾市遺族連合会会長、熊本県知事、荒尾市議会議長
6. 追悼電披露
7. 献 花
8. 一同拝礼
9. 閉式のことば…荒尾市保健福祉部長

式 辞 (平成25年度)

本日ここに、戦没者、戦傷病者、並びに戦災死没者の御遺族をはじめ、多数の御来賓の皆様をお迎えして、平成二十五年度荒尾市戦没者追悼式を執り行うに当たりまして、戦没者の御霊に謹んで哀悼のことばを申し上げます。

先の大戦が終結してから、六十八年の歳月が過ぎ去りました。あの苛烈を極めた戦いの中で、三百万余の方々が祖国の安泰と家族の無事を案じつつ、戦場に倒れ、戦火に遭われ、あるいは戦後、遠い異郷の地において亡くなられました。

戦没者の方々の無念を思うとき、今なお悲痛の思いがこみ上げてまいります。

また、最愛の肉親を失った悲しみに耐え、苦痛を乗り越えてこられたご遺族に、深く敬意を表します。

戦後、私たちはこの悲慘な戦争を二度と繰り返さないとの固い決意の下、国民のたゆまぬ努力により、平和で豊かな社会へと発展を遂げてまいりました。

今日の繁栄と平和が、戦争によって心ならずも命を落とされた方々の尊い犠牲と、かけがえのない肉親を亡くされたご遺族の皆様の大変なご苦労の上に築かれていることを、ひとときも忘れてはなりません。そして、過去の悲慘な戦争の教訓を風化させることなく、命の尊さ、平和の大切さを次の世代に語り継いでいかなければならないと思っております。

私たちは、今後、近隣諸国はもとより、世界中の国々との友好関係を一層発展させ、国際社会の一員として、世界の恒久平和を確立し、人々が心豊かに暮らせる社会の実現に向けて全力を尽くして参ります。

ここに、戦没者の方々の御霊の安らかならんことを、そして御遺族の皆様今後の御平安と御健勝を、心からお祈り申し上げまして、式辞といたします。

平成25年10月24日
 荒尾市長 前畑 淳治

5 水俣市戦没者追悼式



※写真提供 水俣市

開催概要 (平成25年度)

歳事名：水俣市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：水俣市総合もやい直しセンター「もやい館」
 住所：熊本県水俣市牧ノ内3-1
 (肥薩おれんじ鉄道 水俣駅 徒歩20分)
 日時：平成25年10月4日(金) ※例年10月中旬開催
 参加者数：約220人
 連絡先：水俣市 福祉環境部 福祉課 生活支援室 0966-61-1640 (直通)

式次第 (平成25年度)

1. 開式のことば
2. 黙 祷
3. 式 辞…水俣市長
4. 追悼のことば…熊本県知事、熊本県議会議員、水俣市議会議長、水俣市遺族会会長
5. 回 顧…遺族代表
6. 献 詠…水俣市吟友会
7. 献 花
8. 閉式のことば

式 辞 (平成25年度)

本日、ここに、戦没者の方々の御霊の御前で、御遺族をはじめ御来賓、市民の皆様のお臨席を賜り、平成25年度水俣市戦没者追悼式を挙げるにあたり、謹んで哀悼の誠を捧げます。

終戦から68年の歳月が過ぎ去りました。戦後、我が国は焦土の中から立ち上がり、たゆまぬ努力を積み重ねて、平和で豊かな社会を築き上げてまいりました。

いま、私たちが当たり前のように享受している平和と繁栄は、身命を捧げ歴史の礎となられた幾多の重く尊い犠牲の上に成り立っていることを、改めて心に深く刻んでまいらなければなりません。私たちすべての世代の人々が、悲しみの歴史を繰り返さないとの決意を新たにするとともに、戦没者の方々が、かけがえのない命をもって示された戦争の悲惨さと平和の尊さを風化させることなく、しっかりと語り継ぎ、国際社会に向け発信していくことが、現在を生きる者としての重要な使命であります。

水俣病を経験し、命と環境の大切さを改めて確認することとなった私たちは、水俣を命の大切さを基盤にすえた、ぬくもりのある環境モデル都市にして参りたいと考えております。命を尊ぶまちづくりを進めていくことが、ひいては尊い犠牲となられた戦没者の方々のお気持ちにお応えすることであり、このことは市民としての責務でもありと思っております。

ところで、いよいよ来週9日には、各国要人をお招きして「水銀条約外交会議」が開催され、さらに、27日には天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、「第33回全国豊かな海づくり大会」の放流事業が開催されます。水俣の豊かな自然・環境への取り組みを国内外に発信する絶好の機会として、市民の皆様のご参加を御願いいたします。

最後に、戦没者の御霊のとしえの御冥福をお祈り申し上げますとともに、願わくば在天の光として、水俣の行く末を照らして下さることを念じ、併せて御遺族皆様方の御多幸を祈念いたしまして、追悼の式辞といたします。

平成25年10月4日
 水俣市長 宮本 勝彬